

大田原市では、全国すべての小中学校で始まる「**文部科学省GIGAスクール構想**」に基づき、市内全ての児童生徒に1人1台のパソコンを貸与します。

校内では、子どもたちが常にインターネットに接続できる環境で学習を進めます。子どもたちは、パソコンを鉛筆やノートと並ぶ「新しい文房具」として日常的に活用していきます。

GIGAスクール構想とは？

全ての児童生徒が1人1台のパソコンを持ち、常にインターネットに接続できる環境で勉強を行うことです。※GIGA=Global and Innovation Gateway for All

学習

これまでの学習+パソコン=さらなる学力向上



調べ学習の充実

調べたいときにいつでもパソコンで調べることができます。



表現・制作

文書作成ソフトやプレゼンテーションソフトを活用して、写真や動画など幅広い表現・制作活動ができるようになります。



個別学習の充実

苦手なところはじっくりと、得意なところはどんどん進んで学べるようになります。



発表や学び合い

情報交換や意見交換が簡単にできます。自己表現が得意な子も、そうでない子も、自分の考えを発表したり、友だちの意見を聞いたりして、学習を深めていくことができます。



教科書のQRコードの活用

大田原市で採用している教科書にはたくさんのQRコードが付いています。動画を視聴したり、関係する資料を閲覧したりできます。



生活

学習の下支えとなるICT活用を育てます

普段の学校生活でパソコンを使用することで、授業でもスムーズにパソコンが使えるように生活の様々な場面での活用を広げていきます。

例えば

朝の活動

- ・予定の確認
- ・朝の学習
- ・健康観察

帰りの会

- ・1日の振り返り
- ・翌日の日程の確認
- ・宿題の受け取り

係・委員会

- ・目標の設定
- ・活動の記録
- ・活動の報告

部活動

- ・模範の動画視聴
- ・自分の演技や演奏の録画

ICTとは？ パソコンやインターネットなど情報通信技術に関する総称です。

※ICT=Information and Communication Technology(情報通信技術)



ステップ3 使い方を工夫する

ステップ

- ・教科の学びを深めるためにパソコンを使う。
- ・自分自身でパソコンの活用方法を選択して、使い方を工夫する。
- ・蓄積された学習履歴などの情報を次の学習や将来に生かす。

ステップ2 使うことが自然になる

- ・どの教科でも自然に使える。
- ・生活の中で使う場面を自分で考えられる。
- ・自分に必要な情報を見つけて、編集し、発信することができる。

ステップ1 使うのに慣れる

- ・使うのに慣れる。(例:朝の健康観察)
- ・使って学習が進められる。
- ・自分の意図する操作ができる(例:文字入力)

使いながら情報モラルを高めます



GIGAスクールの疑問



Q:市で導入されるパソコンとソフトはどのようなものですか?

A:導入する端末:Chromebook

導入するソフトウェア:G Suite for Education (クラウドサービス)

Q:インターネット利用で、トラブルに合わないか心配です。

A:インターネットの閲覧には、一定の制限をかけています。

児童生徒が注意すべき情報モラルについてQRコードをご覧ください。



小1~3年生用



小4~中3用

Q:アカウントって何?

A:アカウント(IDとパスワード)は、インターネット上の身分証明書です。

Q:子どもたちのパソコンには、どんなソフトが入っているのですか?

A:子どもたちはGoogle社の提供するG Suite for Educationという機能を使って学習を行います。

詳しくはQRコードをご覧ください。



G Suite for Education

Q:家に持ち帰りはするの?

A:現時点では持ち帰りを行いませんが、持ち帰りができるように今後検討を進めていきます。

Q:どのような学習が行われますか?

A:右のQRコードは、文部科学省の「学校における1人1台端末環境」公式プロモーション動画です。

ぜひご覧ください。



文科省公式プロモーション動画